

ゆめみにゅーす



YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 32
発行日 平成26年5月8日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:24種244点
鳥類:26種117点
爬虫類:10種84点
(平成26年4月末日現在)

こんにちは、ニッポンアナグマです



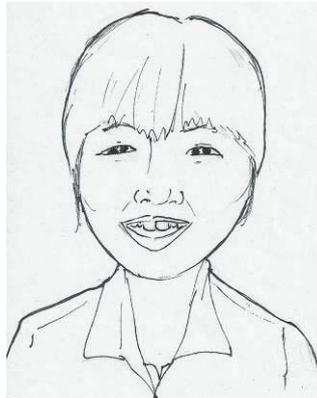
4月19日から、夢見ヶ崎動物公園の新しい仲間として、ニッポンアナグマの展示を始めました。広島県の福山市立動物園からやってきた、2013年生まれの姉妹です。

本州・四国・九州の森林地帯を中心に生息するイタチ科の動物で、出入り口が複数ある、複雑な巣穴をつくります。雑食性で、寒い時期になると夏季と比べ脂肪をしっかりと蓄え、コロコロした体型になります。

やんちゃな2頭が色々な姿を見せてくれるのを、われわれ職員も楽しみにしています。新しい環境に少しでも早く慣れてくれるよう、温かく見守っていただきますよう、よろしくお願いします。

新人職員紹介

4月1日から働き始めた、動物園の新人職員をご紹介します。これからよろしくお願いします！



4月から嘱託員として働くことになりました。動物の飼育をしながら生態や行動などを学んで、早く職場に慣れるよう頑張っていきたいです。(飼育 前田)

こんにちは、ニンゲンです！主な居場所は動物公園事務所です。今まで、色々な職場を回ってきましたが、ニンゲン以外の動物の方が種類も数も多い職場は初めてです。動物公園の裏方として日々がんばっています。(事務 中野)



初めまして。4月から夢見ヶ崎で働くことになった岡本修太です。サマースクールから10年以上経ち、まさか自分が飼育員になるとは思っていませんでした。これから頑張りますので、よろしくお願いします。(飼育・診療 岡本)

レッサーパンダのカリンが引っ越します

アンとファファの第1子、カリンが繁殖のため、市川市動植物園に移動することになりました。寂しくなりますが、絶滅の恐れがある希少なレッサーパンダの遺伝子を残すための大事な嫁入りです。元気でいてほしいと思います。気をつけて行ってらっしゃい！



アカハナグマのコジローが亡くなりました。

かねてから療養中のため展示を休止し、動物病院に入院していたアカハナグマのコジローが、3月15日に亡くなりました。14歳でした。

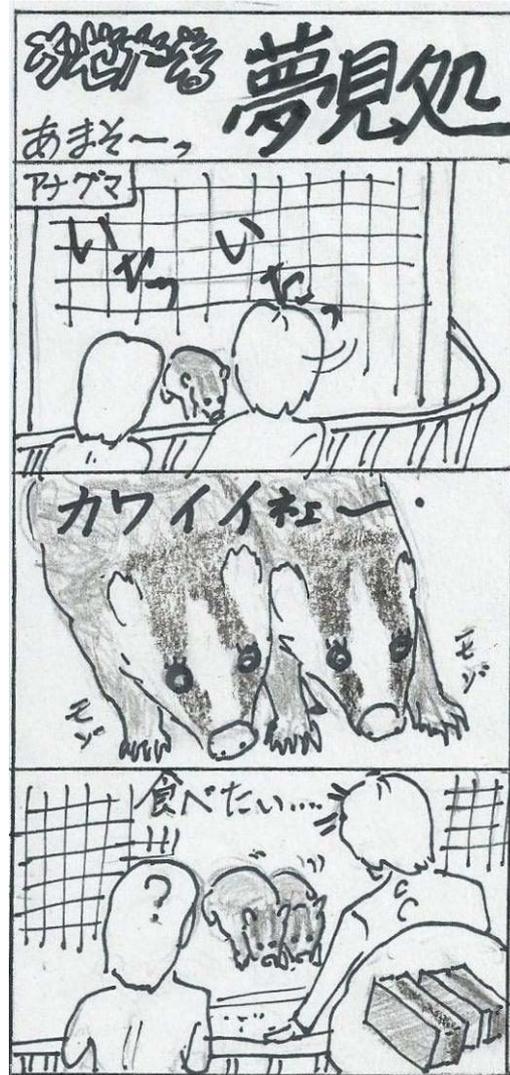
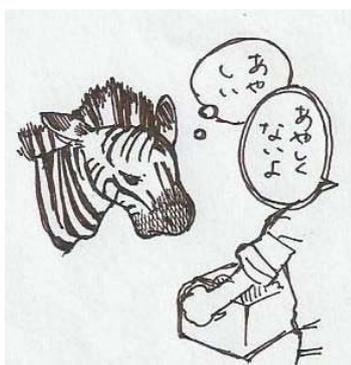
腰を悪くしてから、痛みどめの薬を好物のさつまいもに混ぜて与えたのに、感づいて薬入りのいもだけ残したり、体調が良い時は愛嬌たっぷりの姿で毛づくろいをしたりする姿が印象的でした。

コジローをかわいがっていただき、ありがとうございました。



獣医の日記

今年もシマウマの削蹄の時期が近づいてきました。削蹄とは、爪切りのことです。ウマの蹄は、ヒトでいうところの中指の爪にあたります。あの大きな体を4本の足の指1本ずつで支えているので、蹄はとても大事なのです。伸び方は歩き方のくせや運動量などにより、それぞれ違います。そのため、適切な形に伸びなかったり、伸びすぎてしまったりした場合は切らなくてはなりません。元気なシマウマを生身の人間が押さえることは不可能なので、餌に鎮静剤を混ぜ、ぼーっとしてきたところで、体の周りにぐるっと枠を組み、身動きが取れない状態にして行います。と書くと簡単そうですが、簡単ではありません。いつもと違う雰囲気、わずかな餌の味の違いなどを敏感に感じ取り、薬入りの餌をすんなり食べてくれない場合が少なくありません。ここからは好物で食欲を刺激してみたり、普段あまりたくさん与えない種類の餌で興味を引いてみたりといった駆け引きが始まります。同じ餌でも、人が見ていると食べないこともあります。そして、昨年と同じ薬の量を食べたからといって、本人の精神状態や体調によって効き方が同じとは限らないのも悩ましいところです。こんな感じで、削蹄そのものが行われる前に、重要な前哨戦が行われているのです。この時点で人間も精神的にだいたい疲労してしましますが、本番を前に気が抜けない状態は続きます。(つづく)



★動物たちの主な移動(平成26年2月1日～平成26年4月30日)★

ヤギ(♀1死亡)、ワカケホンセイインコ(♂1死亡)、アカハナグマ(♂1死亡)、マーコール(♀1死亡)